

「1~7月のたまねぎ、にんじんの輸入量について」

「1~7月のたまねぎ、にんじんの輸入量について」

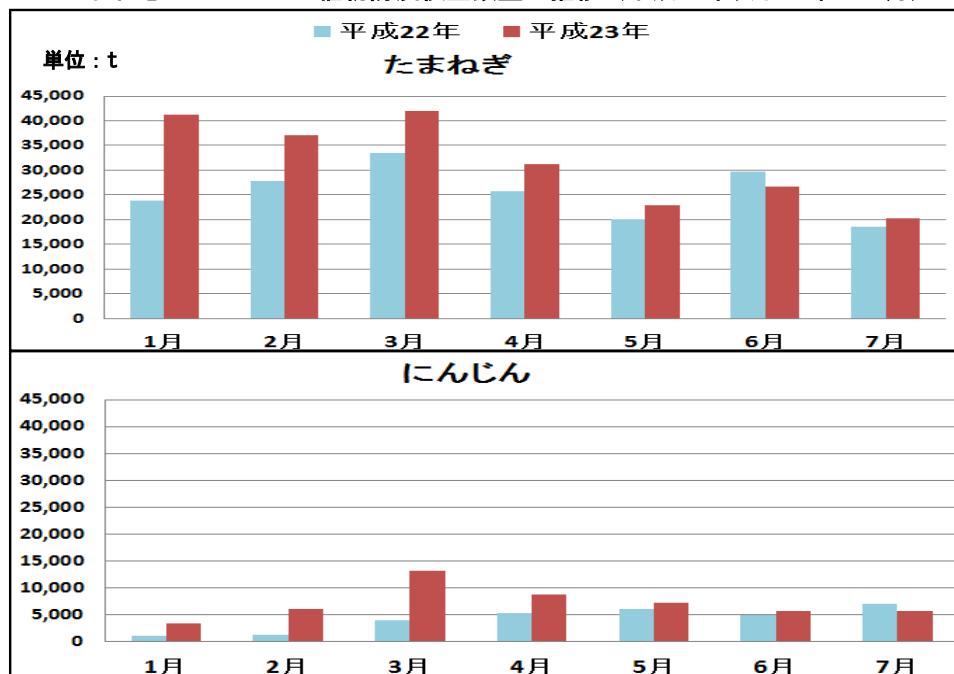
平成23年1月~7月までの輸入量を植物防疫統計でみると6月のたまねぎ、7月のにんじんを除き前年を上回って推移している。

その主な要因は
 ① 北海道産たまねぎの2年続けての不作など国内産の供給が減退していること、
 ② 業務筋においては、一次加工されたむきたまねぎや加工業務用に向く大きなサイズのにんじんなどに対する輸入品への固定的な需要があること、
 ③ もともと価格差があるところに、中国産は豊作で極端に輸入単価が下がっていること、
 などがあげられる。

震災以降外食の売り上げが伸びず実需者の低価格志向が高まっていることなどを踏まえると、今後とも一定数量の輸入が継続するものと見込まれる。

たまねぎ・にんじんの植物防疫検査数量と中国産たまねぎ・にんじんの輸入単価の推移

たまねぎ・にんじんの植物防疫検査数量の推移（平成22年及び23年1~7月）

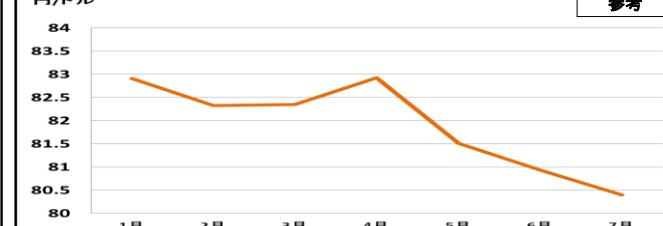


資料：ベジ探 (原資料) 農林水産省「植物防疫統計」

中国産たまねぎ・にんじんの輸入単価の推移(23年)



為替レートの推移(平成23年)



資料：ベジ探 (原資料) 財務省「貿易統計」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、須藤 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484

◆「野菜需給・価格レポート」は月2回公表しています。公表日にメールにてお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のお問い合わせから <https://www.alic.go.jp/form/vegetan.html>

★野菜ソムリエの旬ナビゲーション「ベジシャス」 http://www.alic.go.jp/y-suishin/yajukyu01_000076.html